



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 183号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報 2017 年 11 月号 代表理事 高橋絹世

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

平成 29 年度市民大学講座第 3 回

「和光の自然と歴史～和光市自然環境マップとめぐる～」10 月 11 日開催されました

平成 29 年度市民大学講座・講座名「地元・古民家再発見～第 2 の活動・地域を知り・体験しよう～」全 5 回が特別講座として生涯学習課で企画されました。5 回のうちの第 3 回の目的は、地元を改めて見直したい市民のために「和光」について学ぶ機会が提供され、当会が講師として自然環境マップを活用し白子地区を案内しました。

第 3 回の表題 「和光の自然と歴史～和光市自然環境マップとめぐる～」

日時 2017 年 10 月 11 日 (水) 13:30～15:30

プログラム：講義 (中央公民館) 13:30～14:00：高橋勝緒理事が、和光の自然特に湧水について「和光市湧水環境調査」の紹介から、自然環境マップについて説明しました。

コース：公民館出発 (14:00) → ニホニウム通り → 浅久保の浅間神社・馬頭観音 → 代官屋敷 → オリピック道路歩道橋 → 大坂通り → 大坂ふれあいの森 富沢湧水 熊野神社 白子宿通り 白子橋 (湧き水が川へ流入・解散)

この企画は、環境課の協力で実現し、当日は生涯学習課、環境課の職員も同行され、市民大学講座の受講生 12 名の方々が参加されました。湧き水の会 4 名で白子湧水群の自然環境と歴史を、現地を実際に見学しながら紹介しました。

当会では、今までに多方面の方々に、富沢湧水と大坂ふれあいの森を案内してきました。この経験を活かした企画です。和光の湧水がどこから湧き出て、どこへ流れていくのかという観点から、白子川へ流入する様子まで見学するコースとしました。和光の自然に初めて触れるかたもおられ、短時間にめぐり、地層や地質、自然環境など地域を知ってもらえたかどうか心配です。このような企画が次年度も継続され白子宿の湧水を知ってもらい守られるといいと思います。



NPO 法人和光・緑と湧き水の会 11 月、12 月の予定表

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富沢湧水・大坂ふれあいの森	樹林公園
11 月	12 日 市民祭り 19 日 白子コミセン祭	18 日午前：保全 午後：下新倉児童館 「ドングリや竹工作」	10 月 30 日 モニ 1000 15 日 大坂ふれあいの森と 富沢湧水保全 (ビデオ撮影)	検討会参加
12 月		16 日 定期保全	9 日 富沢湧水保全 20 日 大坂ふれあいの森保全	

